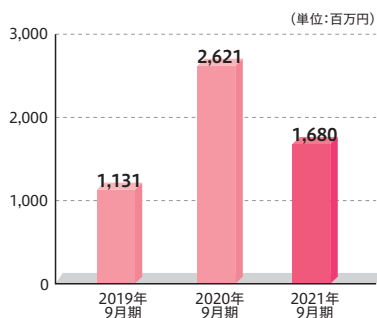


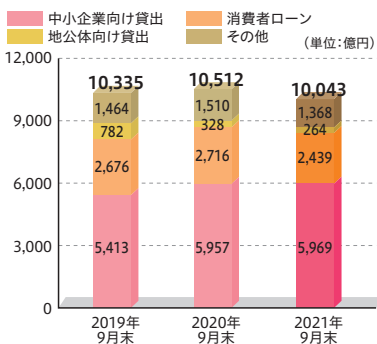
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、手数料収入等の役務取引等利益が増加したことに加えて、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比9億40百万円減少の16億80百万円となりました。



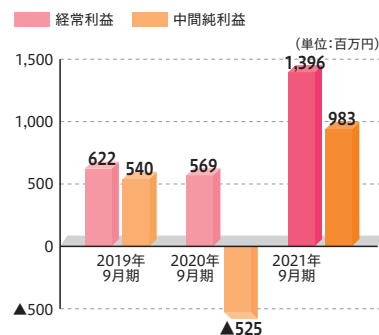
貸出金の状況

貸出金残高は中小企業向け貸出は増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年9月末比469億59百万円減少の1兆43億30百万円となりました。



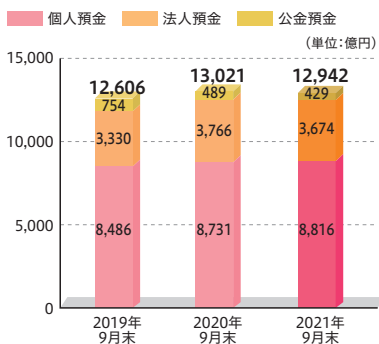
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、貸倒引当金の戻入に伴い、与信関係費用が減少したことなどから、前年同期比8億26百万円増加の13億96百万円となりました。中間純利益は前年同期比15億8百万円増加し、9億83百万円となりました。



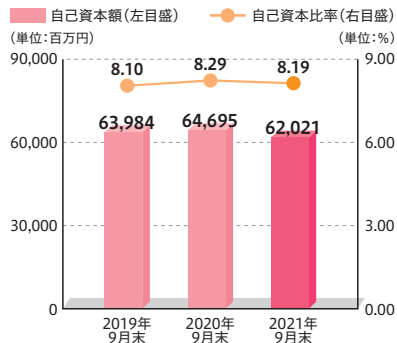
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金が減少したことなどから、2020年9月末比78億82百万円減少の1兆2,942億70百万円となりました。



自己資本比率の状況

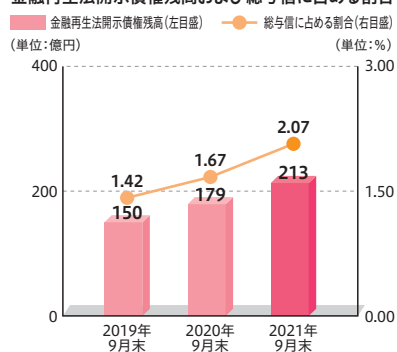
単体の自己資本比率は、リスクアセットが減少したものの自己資本額が減少したことなどから、2020年9月末比0.10ポイント低下し8.19%となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2020年9月末比34億33百万円増加の213億96百万円となりました。総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.40ポイント上昇し2.07%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■コア業務純益：「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。■経常利益：「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。■中間純利益：「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。